

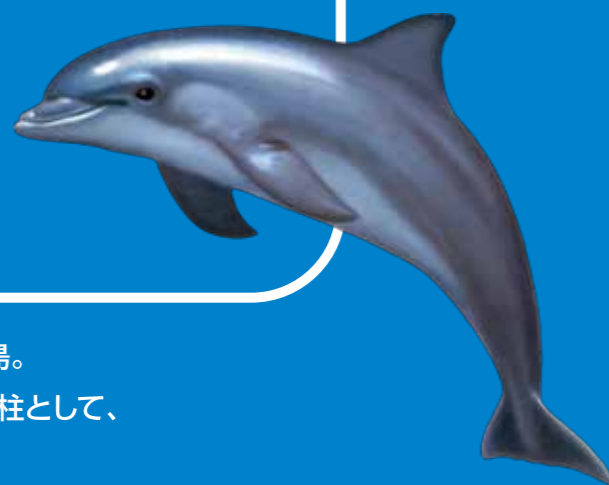
■ 天草ジオパーク構想のテーマ

いちおくねん だいち
1億年の大地と
いのち きろく
生命の記録

～恐竜からイルカ、そして「石」文化が薫る楽園 Amakusa～

【ジオパークとは】

地質学のことを英語で
ジオロジー(Geology)といい、
地理学のことをジオグラフィ
(Geography)といいます。「ジオパーク」
は、地球や大地を表す「Geo」と公園を意味す
る「Park」からなる造語です。地質・地形だけ
でなく、大地に関連する動植物・歴史・文化
なども含まれ、それらが保護・活用され
ていることを認定された地域に与
えられる称号です。



太古の記憶を宿し、生命の不思議を感じさせてくれる天草諸島。
この地域を特徴づける5つの要素を「天草ジオパーク構想」の柱として、
それぞれの特徴に含まれる地質・地形、景観、文化、産業を、
各地に点在するジオサイトを通してご紹介していきます。

**1 1億年の
大地の記録**

地層を形成する堆積岩や、火山のマグマ
によってできた火成岩など、天草では
太古から積み重ねられた地質・地形を
見るすることができます。

**2 豊富で多種
多様な化石**

白亜紀から古第三紀の地層から産出する
海生生物と、貴重な1億年前の恐竜や日本
最古の大型ほ乳類に代表される陸上動物
など、豊富で多種多様な化石がみられます。

**3 風光明媚な
島の景観**

多島海と、浸食によってできたケスタ
地形に現れる褶曲構造。その地質・地
形がつくりだすのは、天草を特徴づける
風光明媚な景観です。

**4 豊かな
生態系**

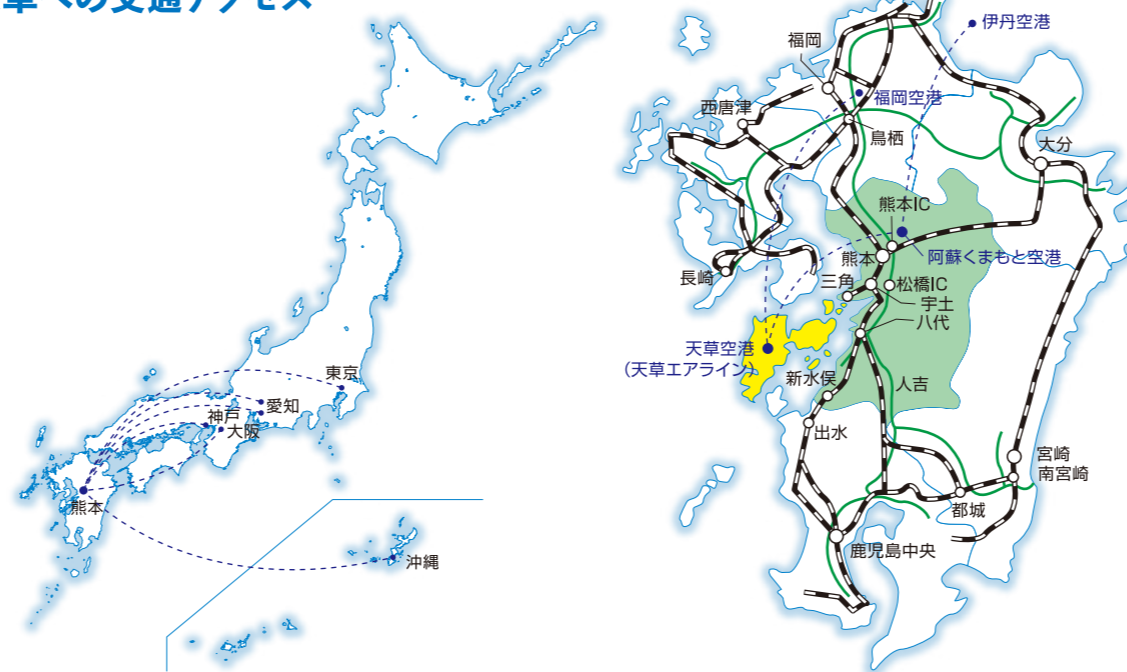
野生のミナミハンドウイルカが定住
する天草。イルカに代表される独特の
生態系が天草にはあります。

**5 地下資源と
文化・産業**

地下資源が豊かな天草では、陶磁器
や石橋、砥石などの独自の「石」文化が
育まれています。今もなお、人々の生
活に根付いているのが特徴です。

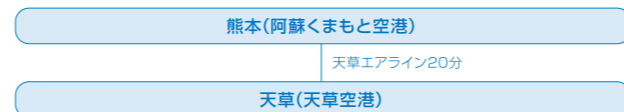
【天草ジオパーク構想の基本理念】
天草地域に存在する地質遺産を住民、
地域、行政などが協働して保全すると
ともに、教育・学習に活用し、また地域
の歴史・文化・観光資源と有機的に連
携させることにより、魅力的なジオ
ツーリズムを構築しながら天草地域の
振興を図ります。

■ 天草への交通アクセス

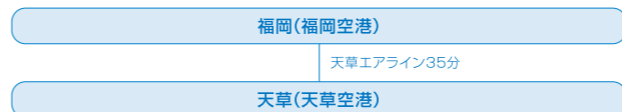


飛行機ご利用の場合

【阿蘇くまもと空港発着】



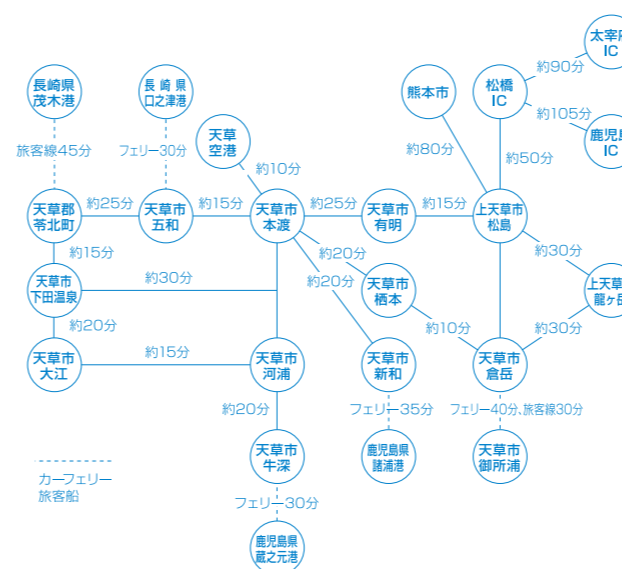
【福岡空港発着】



バスご利用の場合



マイカーご利用の場合



JRご利用の場合



【お問い合わせ先】

天草ジオパーク構想推進協議会事務局
(天草市役所経済部商工観光課内)

〒863-0048 熊本県天草市中村町10-8-2
tel.0969-23-1111(内線2645) fax.0969-23-1999
ama-geo@city.amakusa.lg.jp



うみ はくぶつかん
海にうかぶ博物館

あまくさ
天草ジオパーク 構想

AMAKUSA GEOPARK PLAN

【ダイジェスト版】

天草ジオパーク構想推進協議会(熊本県天草市・上天草市・苓北町)



【ジオサイトの紹介】

島に刻まれた大地の記録。 天草は、海にうかぶ博物館です。

天草ジオパーク構想では、大地の営みを感じる60のジオサイトを設定しています。
その中から代表的な15のジオサイトをご紹介します。



② 豊富で多種多様な化石

高戸の白亜紀化石

所在地 上天草市龍ヶ岳町 分類 貝類・サメの歯化石



海水浴場脇に露出している姫浦層群の島層からは、貝類とアンモナイト類化石が多く産出。海岸の露頭や石から簡単に化石を観察できます。注意深く見ると、サメの歯化石が見られることもあります。

アンモナイト館

所在地 天草市御所浦町 分類 巨大アンモナイト化石



直径60cmもある巨大アンモナイトが、まるで海底に横たわっているように展示。そのサイズは九州最大と推定されています。また、展示館の周辺は希少な植物や昆虫の生息場であり、これらを観察することができます。

軍ヶ浦海岸

所在地 天草市天草町・河浦町 分類 草食恐竜の足跡化石・貝類化石



約7,000万年前の草食恐竜の足跡と歯の化石が貝類の化石とともに発見されています。海域で形成されていた姫浦層群の上部では、汽水域の環境になったことがわかります。今後、重要な発見が期待できる場所として調査・整備を進めています。

③ 風光明媚な島の景観

千蔵山展望所

所在地 上天草市松島町 分類 多島海の景観



千蔵山の山頂からは大矢野町方面の眺望が開け、天草五橋が一望できる絶好のビュースポット。真っ青な海に約5,000万年前の白い白岳層砂岩から成る大小の島々が浮かぶ、風光明媚な多島海の景観が楽しめます。

富岡の砂嘴・砂州

所在地 天草郡苓北町 分類 地形・景観



志岐平野と海に浮かぶ小島が、天草下島の西岸を北上する沿岸流が運ぶ小石や砂によってつながってできた陸繋島である富岡半島。つながった後は、沿岸流が半島を回り込む流れに変わったため、東側に砂を運び、島のくちばしの形を意味する砂嘴をつくったのです。

妙見ヶ浦

所在地 天草市天草町 分類 奇岩の景観



波の浸食によってできた崖は高さ100mになるところもあり、海底で堆積してきた姫浦層群の隆起によって見事な自然景観をつくりだしています。黒い岩石から成る妙見岩と、それに沿う白い流紋岩の景観は、国指定名勝・天然記念物に指定されています。

④ 豊かな生態系

ミナミハンドウイルカ

所在地 上天草市・天草市・天草郡苓北町 分類 地形と豊かな海



天草下島と島原半島の間にある早崎瀬戸に生息するミナミハンドウイルカ。約200頭が、海底地形が複雑なこの海域に住み着いています。海峡と生態系について学べるイルカウォッチングは、天草の観光レジャーとして大人気です。

永浦島のハクセンシオマネキ生息地

所在地 上天草市松島町 分類 広大な干潟



松島町の永浦島周辺は日本有数のハクセンシオマネキの生息地。このカニは体長約2cmで、オスは片方に白く大きなハサミを持っています。6月から8月まで干潮時の干潟で大きなハサミを盛んに振るオスの姿を見ることができます。

牛深海域公園

所在地 天草市牛深地域 分類 海域公園の生態系



昭和45年に日本で初の海域公園に指定。トサカ類やイソバナ類など色とりどりの珊瑚が群生し、ダイバーにも人気のスポットです。海中の様子は、牛深港から発着しているグラスボートで楽しむことができます。

① 1億年の大地の記録

高空島

所在地 上天草市松島町 分類 新第三紀の火山群



上天草市の北部には、約300万年前に噴火したとされる小火山が見られます。その中の高空島では、(※)角閃石を多く含む(※)安山岩から成り、島の形が美しくから天草富士とも呼ばれています。
※角閃石:火山の岩石に含まれる鉱物。細長い柱状からつぶれた六角形の形をしている。
※安山岩:地表に出てきたマグマが冷え固まった岩石のひとつ。灰色の岩石。

横浦島の不整合露頭

所在地 天草市御所浦町 分類 白亜紀の地層



白亜紀の深い海の底で堆積した姫浦層群が、その後の地殻変動によって隆起し、地表に現れ、この時の浸食によって不整合面がつけられました。恐竜時代の地層とは乳類時代の地層が(※)不整合で接する地層を観察できます。
※不整合:上下に重なる2つの地層に大きな時間の隔たりがあり、互いに隣り合っていないこと。

おっぱい岩

所在地 天草郡苓北町 分類 坂瀬川層の(※)ノジュール



女性の乳房の形に似ていることから「おっぱい岩」と呼ばれている海岸に転がる大きな岩。西川内の海岸に露出する坂瀬川層の中にある硬い塊が、風化・浸食によってできたものです。
※ノジュール:堆積物中に含まれるさまざまな形をした硬化部のこと。

⑤ 地下資源と文化・産業

祇園橋

所在地 天草市本渡 分類 石橋



1832年に架けられた石橋で、国指定重要文化財。石造桁橋では日本最大で長さ28.6m、幅3.3m。全国でも珍しい45脚の石柱によって支えられている多脚式です。この石橋は、天草市下浦地域から採掘された砥石層の砂岩を、下浦の石工が加工したものです。

天草砥石の産地

所在地 上天草市大矢野町 分類 地下資源による産業



木目状の縞模様美しい「天草砥石」。白く変質した(※)流紋岩に水酸化鉄の汚染によって茶色の縞目が自然にできたもので、建築石材や生活用品として昔から使われています。産地の周辺は流紋岩の買入の恩恵を受け、豊かな温泉が湧き出しています。
※流紋岩:地表に出てきたマグマが冷え固まった岩石のひとつ。白色の岩石。

志岐炭鉱石碑台座

所在地 天草郡苓北町 分類 炭鉱



天草地域最大規模の炭鉱として、明治中期から昭和50年まで採炭されていました。炭鉱地から港まで石炭運搬用の鉄道・機関車が操業し、天草で唯一の鉄道でした。この台座は、かつての久恒鉱業志岐炭鉱入場門の安全祈願鐘の土台。

【天草ジオパーク構想モデルコース】

"AMAKUSA GEOPARK PLAN" MODEL COURSE

◎ 恐竜の島一周クルージング

① ①しおさい館 (海上タクシー手配)	② ②弁天島	③ ③京泊	④ ④採石場跡	⑤ ⑤白亜紀の壁
------------------------	--------	-------	---------	----------

御所浦の玄関口、御所浦港にある物産館。レンタサイクルや海上タクシーの手配の他、海産物やお土産の販売、観光情報についても手に入れます。

恐竜足跡の化石発見地である無人島。弁財天が祀られているためこの名前で親しまれています。干潮時には肉食恐竜の足跡のレプリカを見学できます。

赤い浮き橋から化石発見場所の様子を見学できます。天草で最初に恐竜の化石が見つかった貴重な場所です。

採石場跡の崖には、断層による地層のズレが良く観察できます。崖下にある崩れ落ちた岩石は、化石採集体験に利用されています。

烏帽子地区の採石場に見られる崖を「白亜紀の壁」と呼んでいます。この白亜紀の壁は、海上からしか見学ができません。

【解説】 恐竜の島・御所浦を海の上から観察するクルージングコースです。島に詳しいジオツーリズムガイドの案内があれば、一つひとつのジオサイトをじっくり理解することができます。海の上からのみ見学できる「白亜紀の壁」など見どころ満載です。
※ レンタサイクル・クルージングの料金などの詳しいお問い合わせは、御所浦物産館しおさい館(0969-67-1234)まで。

◎ 天草西海岸の絶景を訪ねるドライブコース

① ①黒崎海岸	② ②おっぱい岩	③ ③富岡の砂嘴・砂州	④ ④熊本県富岡ビジターセンター	⑤ ⑤妙見ヶ浦
---------	----------	-------------	------------------	---------

天草を代表する第四紀の地層が分布している海岸。五和地域で採石される御嶺石は、天草の石文化を象徴する石材です。

女性の乳房の形に似た岩石。坂瀬川層の中にある硬い塊が風化・浸食によってできたものです。

平野と小島が沿岸流によって運ばれた小石や砂によってつながってできた陸繋島。まるで鳥のくちばしのような形をした砂嘴が美しい景観をつくりだしています。

富岡城の本丸跡にある施設。天草の自然や歴史、文化、環境など、幅広く学ぶことができます。

国指定名勝・天然記念物に指定されている景観。黒い奇岩を十三仏公園から見ると、ソウが歩いているようにも見えます。

【天草のグルメ&特産品】

AMAKUSA GOURMET & SUPECIALITIES

<h4>無塩寿司</h4> <p>塩をしなくてもいいくらい新鮮な魚を表す「無塩」。それくらい鮮度の高い旬の地魚を寿司飯に混ぜ込み、椎茸、人参、切り干しなどで旨みと彩りを加える上天草市松島町に伝わる郷土料理です。昔は、お祝いの席などでふるまわれることが多かったようです。</p>	<h4>鯛茶漬け</h4> <p>余った刺身や、さばいた鯛の切れ端を、醤油、酒、しょうがのタレに漬け込んでお茶漬けに。ごはんには鯛とタレの旨みがかみ込んで、クセになるおいしさです。タレに漬け込むことで2、3日の保存ができるように、天草の生活の知恵が生んだ郷土料理です。</p>	<h4>こっばもち</h4> <p>平地が少ない天草では、サツマイモが貴重な食料として盛んに栽培されていました。このため、天草にはサツマイモを使ったお菓子や料理が数多く、その中のひとつがこの「こっばもち」。干したサツマイモと蒸したもち米を練り合わせた素朴な味わいです。</p>	<h4>ちりめんじゃこ</h4> <p>天草の東海岸では、昔からイワシ網漁が盛んに行われるため、カクチイワシの稚魚であるちりめんじゃこが特産品。水揚げしたばかりのものを釜ゆで、天日干しにするため旨味が凝縮されてとっっても美味です。</p>
--	--	--	---